

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	日本の演劇 (Japanese Theater)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	「能」という日本の古典演劇を個々の身体を通して実体験し、それぞれの身体を通して「演じる」ということ探っていく。		
担当者名 (Instructor)	鶴澤 光(UZAWA HIKARU)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2300	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2016年度以降1年次入学者対象科目 定員 30名		

#### 授業の目標(Course Objectives)

能の表現を裏づける根源的な力とは何か、それを能の詞(ことば)・型(動き)を身体を通して学ぶ。それによって日本人の培った、豊かな感性に気づき、更に日本文化の深層に触れて行く。能を通して「演じること」を探っていく。

Students will learn the underlying power that supports the expression of Noh, the lyrics of Noh (words) and movements through the body. As a result, students will become aware of the rich sensibility of Japanese people, and will touch upon the deeper layers of Japanese culture.

#### 授業の内容(Course Contents)

能という舞台芸術について多角的に学ぶ。能の一曲を取り上げ内容を理解した上で、その一部分を詞章、節、それに伴う動きを含め、実際に身体で学ぶ。実技中心。己れの肉体を目一杯使って、能の表現にどれだけ近付けるか、自分に仕掛ける事。今年は平家物語に主題した平清経を主人公とした能「清経」をテーマに据え、演劇、文学、歴史など多岐にわたる日本文化、芸術を縦断する授業を展開する。

We will take a Noh songs, understand the contents, and learn parts of them with the body, including poetry and prose, verses, and movements associated with them. The course will be practically-oriented. Students will have to challenge themselves to use their own bodies to the fullest to see how close they can get to the expression of Noh.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーションと実技・・・授業をどう進行するかの説明。「能」とはどのような演劇なのか、その内容・歴史などを映像を観つつ学ぶ。
2. オリエンテーションと実技・・・能「清経」(きよつね)を素材に戯曲を音読し、現代語訳しつつ、内容を把握する。実技の基本を学ぶ。
3. 「清経」を学ぶ・・・能「清経」の映像を見る。
4. 実技。「清経」の一部分を実際に演じる(これが最終テストの課題である。)  
「清経」の課題部分を最終テストに向けて少しづつ学ぶ、暗記する。
5. 実技。前回のつづき。  
「清経」の課題部分の学びを少しづつ進め、深める。
6. 実技。前回のつづき。  
「清経」の課題部分の学びを少しづつ進め、深める。
7. ゲストスピーカー(囃子方、ワキ方、狂言方、いずれかを予定)を招き、能一曲をどう作り上げてゆくの、違う視点から学ぶ(予定)
8. 実技。前回のつづき。  
「清経」の課題部分の学びを少しづつ進め、深める。
9. 実技。前回のつづき。  
「清経」の課題部分の学びを少しづつ進め、深める。
10. 身体との関わりについて、古典とは違う視点から学ぶ。  
ゲストスピーカー(コンテンポラリーダンサー)によるワークショップを予定。
11. 実技。最終テストに向けてしっかり身に付いているか、一人一人細かく学ぶ。
12. 実技。前回のつづき。  
最終テストに向けてしっかり身に付いているか、一人一人細かく学ぶ。
13. 授業内「清経」の最終実技テストその1を実施。
14. 授業内「清経」の最終実技テストその2を実施。能鑑賞のレポート提出。

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

毎回実習したことを反復練習すること。指示されたことを予習、暗記、復習してくること。きちんと授業に出れば試験範囲は習得できるので、諦めないこと。実技中心の積み重ねが肝要な授業である為、欠席しないこと。授業では積極的に己れに仕掛けて行くこと。

能鑑賞のインフォメーションは授業にて致します。

#### 成績評価方法・基準 (Evaluation)

最終テスト(Final Test)(40%)/出席状況と授業参加度(40%)/能鑑賞後のレポート(20%)

#### テキスト(Textbooks)

1. 『観世流大成版「清経」(きよつね)』、檜書店
2. 『対訳で楽しむ能「清経」』、檜書店

#### 参考文献 (Readings)

1. 観世 寿夫、2008、『心より心に伝ふる花』、角川ソフィア文庫 (ISBN:978-4044080013)
2. 石井 倫子、2009、『能・狂言の基礎知識』、角川選書 (ISBN:978-4047034402)
3. 小林 保治、1999、『能・狂言図典』、小学館 (ISBN:978-4093620628)

#### その他(HP等) (Others(e.g.HP))

受講者は必ず白足袋にて参加すること(初回授業で説明します)  
座りやすく動きやすい服装で授業に参加すること。  
筆記用具をご持参ください。

<http://www.tessen.org>

<http://www.hikaruuzawa.com>

#### 注意事項 (Notice)

本科目は、担当教員の実務経験、または実務に従事するゲスト・スピーカーの招聘講義等を活かした授業である。